

QSK

2017

2

～新しい「公」づくり市民の皆様と～

はじめよう！



CONTENTS

事業所の行事より	P 2
それぞれのクリスマス～新年	P 3
現場で働くスタッフの声	P 4
9月～11月 活動実績	P 5
生活支援スタッフ研修案内	P 5
10月～12月 会の動き	P 6
ふるさと納税はじめました	P 6
7月～12月 寄附金のお礼	P 7
「木育」ってなあに？	P 7
グループ事業所案内	P 8
ICTサポートセンターより	P 8



市民生活支援センター
ふくしの家

新年あけましておめでとうございます

昨秋から本会の認定NPO法人寄付のご協力を願いし、多くの皆様のご理解とご賛同をいただき、おかげさまで今年度も認定基準の年間百名以上を達成することができました。(正確には5年間の平均が年間百名以上)。ご協力いただきました皆様方には心より厚くお礼申し上げます。

議員立法から生まれたNPO法制定から18年が経ち、今では地域になくてはならないものへと成長を続けています。小さな思いからNPOを立ち上げ「公」にすることで活動が盛んになり携わる人も増えてきました。困っている生活課題に目を向け生まってきたサービスもいつの間にかフォーマルなものとなって地域に広がり社会に認知されていくことに繋がります。佐賀県内には四百近くのNPO法人があり、うち認定NPO法人は9団体となっています。福祉・環境・文化・教育などいろんなNPO法人がありますが、本会は高齢者や子ども、障害児者を支援する福祉系NPO法人です。

大小さまざまなNPO法人の中、全国では従業者数が百とか二百、事業収入が数億とかといった法人も珍しくなりました。今後の超高齢化や人口減少などの社会変化に対応する上でもNPO法人が官や企業に次ぐ実効性のある第三セクターとして成長しその役割を果たしていくことが求められます。今更ながらNPO法人がNPO法人である所以として一言でいえば「世のため、人のため」に存在ということですが初心としてこれはどんなミッショントを達成するにせよ、決して失ってはいけないDNAであると思っています。

これから10年あまりは、地域づくり（地域包括ケアシステム）に付随する新たなサービスを、これまでやつてきた事業に必要不可欠なものとして取り組むことになります。というよりここからがNPO法人の本領発揮また本丸として、本会も第二ステージのスタート地点によようやく着くところです。

山は平坦ではありませんが、スタッフ一同これからも努力してまいります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

代表 江口 陽介

まちのホーム循誘・ケアホーム



まちのホーム医大前



まちのホームひかり





まちの子ども保育園



12月22日(木)にチャレンジクラブでクリスマス会が開催されました。

17家族31名の参加があり、出し物や歌であつという間の3時間でした。

バイオリンやキーボードの演奏に合わせて、クリスマソングを歌ったり、

ピコ太郎のPPAPで会場は大爆笑でした。

管理者 川崎



かがやきクラブ クリスマス会

平成28年12月10日(土)
10時～クリスマス会を開催しました。

たこ焼き屋、ポップコーン屋
説法、手品
ダンス(妖怪ウォッチ・PPAP)



子ども達も大喜びでした！



管理者 飯塚



ふくしの家、
サンタ率高し



何歳までサンタクロースの存在を信じていましたか？ 日本の子どもたちの平均は小学校3年生までだって！

調理の道へ進んだのは

ケアホーム 徳富 美郷

私は92歳になる祖母がいます。今も一人で生活していく毎日、デイサービスへ通うのが今一番の楽しみだよと話してくれます。そもそも私が今の職に勤めるきっかけになったのはこの祖母なのですが、今その時の事は忘れる事ができません。それは私がまだ中学生の時でその頃の祖母はデイサービスにも通つておらず本人も元気いっぱいだったので何も心配していなかったのですが、転倒し膝を悪くした事で今までの活動的だった祖母とは思えないほど家から出なくなつてしましました。食事もキツチンに立つ事が辛いので出前ばかりをとり、体調も崩してしまいました。そこで母が食事を作りに行つたりおかげを作つて持つて行つたりしていましたが、母も「仕事をしながら祖母の家まで毎日は通えない」と悩んでいました。そんな時近所の方がデイサービスを利用してみては？と進めてくださり祖母との相談の結果、通つてみる事に。初めは不安で表情も暗かった祖母も何度も通う内に見る見る明るくなつて「とても楽しい。趣味の合う人と友人になれたら職員の方も良くして下さる。それに毎日の食事が楽しみなの。」と教えてくれました。それから半年ほど経つた日に「半年前の自分はいつも一人でご飯を食べて何をするわけでもなく部屋に籠つていたけ



テクノツール ワイヤレス透明文字盤「みてタッチ」

<http://www.ttools.co.jp/product/hand/mitetouch/index.html>



Windows や iPhone、Android 等のデバイスと Bluetooth 接続し使用するワイヤレス 透明文字盤です。



施設派遣でのサポート風景
個人でも教室としても…
ご依頼があれば伺います～♪

私には92歳になる祖母がいます。今も一人で生活していく毎日、デイサービスへ通うのが今一番の楽しみだよと話してくれます。そもそも私が今の職に勤めるきっかけになったのはこの祖母なのですが、今その時の事は忘れる事ができません。それは私がまだ中学生の時でその頃の祖母はデイサービスにも通つておらず本人も元気いっぱいだったので何も心配していなかったのですが、転倒し膝を悪くした事で今までの活動的だった祖母とは思えないほど家から出なくなつてしましました。食事もキツチンに立つ事が辛いので出前ばかりをとり、体調も崩してしまいました。そこで母が食事を作りに行つたりおかげを作つて持つて行つたりしていましたが、母も「仕事をしながら祖母の家まで毎日は通えない」と悩んでいました。そんな時近所の方がデイサービスを利用してみては？と進めてくださり祖母との相談の結果、通つてみる事に。初めは不安で表情も暗かった祖母も何度も通う内に見る見る明るくなつて「とても楽しい。趣味の合う人と友人になれたら職員の方も良くして下さる。それに毎日の食事が楽しみなの。」と教えてくれました。それから半年ほど経つた日に「半年前の自分はいつも一人でご飯を食べて何をするわけでもなく部屋に籠つていたけ

ど、デイサービスに通い始めて生きるのが楽しくなった。今では毎日の食事を友人と食べるのが楽しみ。食事はとても大切ね。将来は人を喜ばせる食事を作る人になりなさい。」と私に言ったのです。その時の私は将来のことは考えていなかつたのですが、祖母のその一言と楽しそうな笑顔が印象に残つていて自分の進む道を決めました。そして調理の職に就いて8年ほどになります。まだまだ勉強する事が沢山です。この毎日の経験を少しでも活かし利用者様の笑顔へと繋げるように、そして祖母のように食事を楽しみだと思つて下さる方が増えるよう努力していきたいです。

今回経験が浅いため、何を発見できるのかを楽しみに参加しました。

支援機器の展示の中で身近に感じたのが「みてタッチ」の紹介でした。難病コミュニケーションシンポジウムに参加した際に透明文字盤での意思疎通を見てびっくりしていましたが、今回は実際に体験して使用時のストレスも少なくなるのではないかと感じました。この透明文字盤は話し手が目（視線）で示した文字を聞き手がタッチするとスマホやタブレットに文字が入力され、直ぐに自分で確認できます。

また養護学校では主に iPad を使用することとコミュニケーションをとるのが苦手な人でも直ぐにとはいかないが言語でのコミュニケーションがそれました。しかし視覚障害の人には違う方法で：：というように常に本人にあった方法を日々悩み考えられている姿が伝わりました。

今回初めて参加し養護学校の先生方から「本人に支援する方の気持ちが伝わっているのか、本人の本当の気持ちを理解しているのか、日々葛藤している。」というお話を聞き、私自身も障害の方々とふれあう仕事に就き戸惑う日々が多いので、iPad の活用方法などもっと勉強して今後に活かしていきたいと思いました。

ゆめくれよん+ 小渕 はるみ

A T A C カンファレンスに参加して

会の実績

訪問介護

	ホームヘルプサービス			まちの移動ケアサービス		
	9月	10月	11月	9月	10月	11月
介護輸送	1,033	1,002	1,021	756	683	773
身体・生活	212	185	172	102	76	94

小規模多機能型居宅介護

	まちのホーム医大前			まちのホーム循誘		
	9月	10月	11月	9月	10月	11月
開所日数	30	31	30	30	31	30
実利用人数	22	22	22	23	24	24

通所介護

住宅型有料老人ホーム

福祉有償運送

	まちのホームひかり			開所日数	ケアホーム			実利用人数	ふくしの家		
	9月	10月	11月		9月	10月	11月		9月	10月	11月
開所日数	22	21	22	30	31	30	30	2	6	5	
延利用人数	136	133	136	20	20	20	20	23	27	28	

障がい者ICTサポートセンター(佐賀県委託事業)

ゆめくれよん+			
	9月	10月	11月
ボランティア派遣	2	0	29
パソコン教室	30	27	13
ボランティア養成	5	2	0
ボランティアスキルアップ勉強会	0	0	8
ふくしの家パソコン事業	31	30	30

子育て支援事業

まちの子ども保育園			
	9月	10月	11月
開所日数	23	24	24
児童発達支援	114	115	123
放課後等デイ	12	9	2
開所日数	30	31	30
一般保育	206	210	210
開所日数	23	24	24
小規模保育	121	121	185

特別支援学校放課後児童クラブ(佐賀市委託事業)

	チャレンジドクラブ			かがやきクラブ		
	9月	10月	11月	9月	10月	11月
開所日数	22	23	23	23	23	23
利用人数	116	107	133	170	182	183

ささえあい(循誘地区)

	ふくしの家		
	9月	10月	11月
買い物	0	0	1
剪定	0	0	0

循誘公民館。生活支援スタッフ研修を実施しました。参加者は循誘校区に住む住民の皆さまです。たすけあい佐賀の荒木さんにも手伝っていただきました。やはり住民の方で意識の高い方はたくさんおられますね。初めての取り組みでしたが、地域の担い手発掘のための一歩になりました。講習は2日間コースで担い手づくりの入り口講習です。定期的に実施する予定。次回は3月です。(江口)





- 4日 脳いきいき健康塾の打合せ・佐賀市（横尾） 保育所入所手続き説明会（小林）
 5日 国東市社会福祉協議会視察対応（江口）
 6日 国東市社会福祉協議会視察同行・中原たすけあいの会、宅老ちよだ（江口）
 12日 ふくしの家事務局会議／循誘まちづくり協議会福祉部会（江口）まちの子ども保育園内科健診（小林）
 13日 まちの子ども保育園職員会議（小林）
 14日 佐賀市介護予防生活支援推進協議会オブザーバー（江口）まちの子ども保育園藤影幼稚園交流（小林）
 17日 ふくしの家戦略会議／認知症介護東京センターから来訪対応（緒方）
 18日 鹿島地区地域共生交流イベント事務局として参加（江口） 21日 まちのホーム循誘運営会議
 24日 地域包括ケアシステム構築に向けた勉強会・武雄市文化会館・講師（江口）
 25日 佐賀県地域共生ステーション連絡会世話人会及びたすけあい基金勉強会
 26日 運行管理者講習受講（小林・横尾・江口） 27日 決算報告／ふくしの家ホームヘルプ会議



- 2日 園長等運営管理協議会（小林） 5日 福岡県吉富町・地域づくりイベント・講師（江口）
 8日 循誘まちづくり協議会福祉部会（江口） 13日 佐賀市福祉課主催佐賀市街歩き参加（江口）
 14日 まちの移動ケアサービス会議
 15日 第1回佐賀県生活支援コーディネーター連絡会・ふくしの家会議室（江口）
 16日 ふくしの家戦略会議／たすけあい基金勉強会／中原たすけあいの会訪問（江口）
 18日 大分県生活支援コーディネーター勉強会講師・訪問型サービスDについて（江口） 佐賀市保育従事者研修会（小林）
 19日 みんなで創ろう支えあいのまち福津・さわやか福祉財団として（江口） 21日 竹田市移送サービス研修会講師（江口）
 24日 第1回地域との協働による移動支援モデル事業検証委員会・福岡市・委員参加（江口）
 24日 ふくしの家ホームヘルプ・まちの移動ケアサービス合同内部研修 25日 まちのホーム循誘運営会議
 28日 まちの子ども保育園佐賀市保育幼稚園課訪問 29日 まちのホーム循誘運営推進会議



- 2日 シオンの園訪問・認知症介護指導者講師挨拶（緒方） 地域共生ステーションアドバイザー派遣（江口）
 5-7日 さわやか福祉財団全国協働戦略会議（江口） 7日 佐賀県認知症介護指導者会議（緒方）
 8日 月次決算報告／佐賀県地域共生ステーション連絡会ブロック会議（江口）／循誘まちづくり協議会福祉部会（江口）
 9日 子育て世代の就活フェスタ・事務局／地域共生ステーションアドバイザー派遣（江口）
 10-11日 移動サービス認定運転者講習会開催 12日 青年会議所・講師依頼来訪／理事懇親会
 13日 移動外出を多様な生活支援サービスで推進するセミナーin大分（江口）
 14日 ふくしの家事務局会議／佐賀県地域共生ステーションアドバイザー派遣（江口）
 15日 まちのホーム医大前・まちの移動ケア鍋島センター実地指導 まちの子ども保育園職員会議 16日 ふくしの家戦略会議
 19-20日 生活支援スタッフ研修実施・9名受講／佐賀県地域共生ステーション連絡会世話人会
 21日 まちの子ども保育園クリスマス会 佐賀県子ども子育て支援会定例会・懇親会（小林）
 22日 生活支援スタッフ研修体験実習1名・循誘／佐賀県地域共生ステーションアドバイザー派遣（江口）
 ふくしの家ホームヘルプ会議 23日 循誘校区もうすぐ正月祭参加（江口）
 26日 生活支援スタッフ研修体験実習2名・循誘／大分県臼杵市第移動サービス講師（江口）
 27日 まちのホーム医大前運営推進会議／佐賀県地域共生ステーションアドバイザー派遣（江口）
 28日 生活支援スタッフ研修体験実習1名・循誘／月次決算報告／まちのホーム医大前運営会議



あなたの意志をふるさとに ふるさとチョイス
<https://www.furusato-tax.jp>



TOP → 地域でチョイス → 佐賀県の自治体 → NPO支援 → ふくしの家
 こちらでの応援も受け付けております。よろしくお願い致します。



【贊助会費及び贊助寄附】

平成28年7月～平成28年12月受付まで

ありがとうございます
心より感謝いたします



www.kidukai.com

木づかいサイクルマークには日本の美しい森林の再生を願い、森林のサイクルや地球環境を思う人たちの連携やつながりが表現されています。

木育.jp www.mokuiku.jp

木材のよさやその利用の意義を学ぶ「木育」。木材や森林との関わり合いから、知育、德育、体育の3つの側面を効果的に育む取り組みが注目されています。木づかい運動の一環として、木育の活動促進・普及が進んでいます。

ふくしの家は平成25年、まちのホーム循誘の施設新築にあたってNPO法人活木活木(いきいき)森ネットワークの「木造公共建築物・木質バイオマス利活用施設の整備資金等に係る利子助成制度」に応募し、その制度の基に毎年助成をしてもらっています。



12月8日 川副保健センター

脳いきいき健康塾自主グループひまわり会の懇親会。普段は読み書きやダンベル体操であつて、お開きです。風船バレーやお弁当を食べてゆっくり話に花が咲く日は、皆さんより活き活きされました！

12月13日 ふくしの家会議室
みんなで楽しく転ばん教室として、
週一回ダンベル体操をされている
鍋島校区の医大南睦会さん。そこ
に佐賀県歯科衛生士会からお口に
ついてのお話に来られました。口腔
ケアや嚥下訓練の大切さなど改め
て再認識しました。



ケアホーク

古賀藏人様
平成28年11月1日

スタッフ一同、心より
ご冥福をお祈りもうしあげます

事業所

- ケアホームふくしの家【住宅型有料老人ホーム】
佐賀市東佐賀町16番2号／電話0952-37-5102
- まちのホーム循誘【小規模多機能型居宅介護】・グループホームじゅんゆう寮【共同生活援助】
佐賀市東佐賀町16番2号／電話0952-28-4286
- ふくしの家ホームヘルプサービス【訪問介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】
佐賀市東佐賀町16番2号／電話0952-41-9200
- まちの移動ケアサービス 鍋島センター【訪問介護・居宅介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F／電話0952-34-2790
- まちの子ども保育園【佐賀市認可小規模保育施設】・日常生活支援ルームぶりん【児童発達支援・放課後等デイサービス】
託児所しゅーくりーむ【佐賀県認証保育施設】
佐賀市大財6丁目4番66号／電話0952-22-3744
- まちのホームひかり【通所介護】
佐賀市光一丁目9番17号／電話0952-41-8422
- 佐賀県障がい者ICTサポートセンターゆめくれよん+【佐賀県委託事業】
佐賀市鍋島三丁目3-20鍋島シェストハーモニー1F／電話0952-36-6977
- 市民生活支援センターふくしの家事務局
さが福祉移動サービス・ネットワーク事務局／佐賀県地域共生ステーション連絡会事務局
脳いきいき健康塾【佐賀市一次予防事業】
佐賀市鍋島三丁目3-20鍋島シェストハーモニー3F／電話0952-36-6865
- 金立特別支援学校放課後児童クラブ「チャレンジドクラブ」／電話090-9566-6768【佐賀県委託事業】
- 大和特別支援学校放課後児童クラブ「大和かがやきクラブ」／電話090-7475-8989【佐賀県委託事業】
- まちのホーム医大前【小規模多機能型居宅介護】／総合福祉ビルハーモニー窓口
佐賀市鍋島三丁目3-20鍋島シェストハーモニー4F／電話0952-36-6113



パソコンを活用してイキイキライフ！！
あけましておめでとうございます

明るく楽しい一年でありますように。

パソコンボランティア募集中
 障害のある方のパソコンサポートしてみませんか♪




佐賀県障害者ICTサポートセンターゆめくれよん+ ☎ **0952-36-6977**

はじめよう！2月号

【編集／印刷】 認定特定非営利活動法人 市民生活支援センター ふくしの家

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3-20鍋島シェスト 総合福祉ビルハーモニー3F

TEL (0952) 36-6865 FAX (0952) 36-6895

E-mail fukusinoie@world.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.fukushinoie.jp>



【発行】九州障害者定期刊行物協会

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-16-1 毎日福岡会館7F

TEL (092) 753-9722 FAX (092) 753-9723

〔定価100円〕

【購読料は会費等に含む】

※身障第三種郵便の会報以外に、普通郵便扱いで行政、関係福祉団体、市民向けに広報誌としても送付しています。